

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年7月12日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	横須賀市	代表者名	市長 上地 克明
担当者部署	政策推進部	連絡先電話番号	046-822-8258
担当者役職		担当者氏名	
住所	238-8550 神奈川県横須賀市小川町1 1 番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	石山 アンジュ
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	講演内容は、こちらの要望した「実例を含めた内容」でとても分かりやすく受講者もよく理解しているようだった。また最先端の取り組みを知ることができ、職員の意識向上においての良い刺激となった。
アドバイザーへの要望事項	また機会があれば、実際の事業立案段階で意見をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月9日	10時00分	11時30分		90
3-2. 派遣場所	会場名	横須賀市役所 正庁		最寄駅	横須賀中央駅
	所在地	神奈川県横須賀市小川町1 1 番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩(7分)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	84 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員のシェアリングエコノミーに対する認知度が低い。関係部署へ事業ごとに説明しているため、時間がかかっており、うまく啓発ができていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	シェアリングエコノミーを活用して社会的課題を解決できるような事業を創出する。目標達成時期は、令和2年度予算に計上できるように進める。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	シェアリングエコノミーについて職員への理解を深めるため、「シェアが変える社会」をテーマにした講演をしていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	研修に参加した84名の職員のシェアリングエコノミーに関する理解が深まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 単に「分かりやすかった」「分かりにくかった」などのアンケートではなく、実際の政策立案に向けて、所管部署が参加者へフォローアップしていく中で、意見や疑問等を聞いていく。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	シェアリングエコノミーを活用して社会的課題の解決を図る。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

